

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



畑の土壌流出を防ぐ石並べには多くの住民が参加。(2018年:フルー村)

「緑のサヘル」との活動

私はフルー村で農業を営んでいるサウドゴ・チルミンガと申します。今年 57 歳で息子が 3 人、娘が 2 人います。

ブルキナファソでは年々、降雨の不順や土壌の荒廃が進んでいます。最も影響を受けているのは、私のように農業や牧畜、林業で生計を立てている人々です。フルー村があるサブセ郡では、穀物の収量はどんなに頑張っても 500kg/ha が限界で、年間の降雨量が 600 mm を下回るとたちまち不作になってしまいます。

私たちにとって幸運だったのは、日本の NGO「緑のサヘル」が地元の NGO「AJPEE（環境畜産保全青年協会）」と共に、この地域の食糧増産に乗り出したことでした。私たちは彼らの支援を受けながら、堆肥を作って畑に入れたり、石を並べて土壌の流出を食い止めたりと、様々な工夫と努力を続けました。その結果、穀物収量は 900kg/ha にまで増えたのです。本当に嬉しくて、大満足でした。

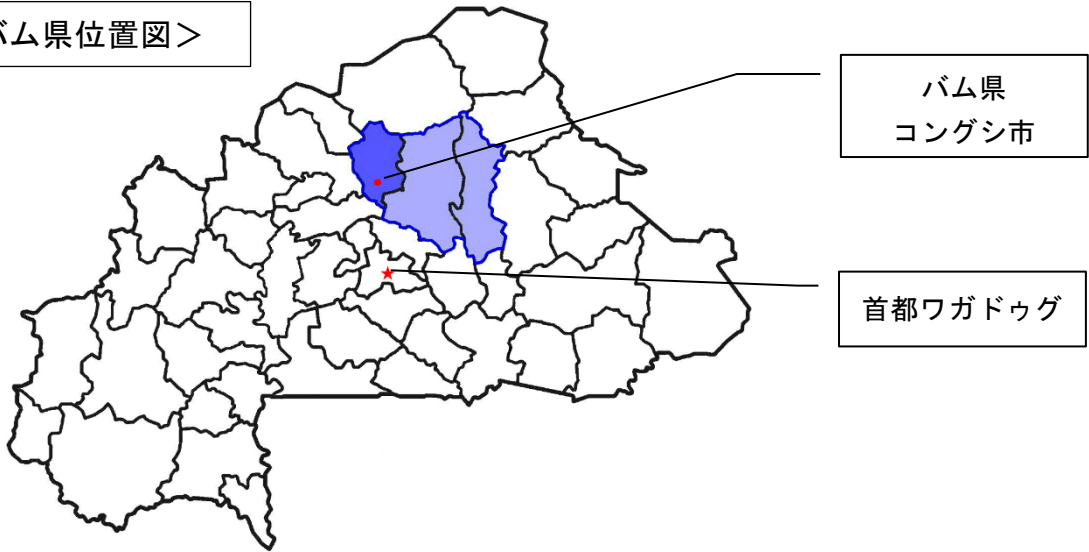
このプロジェクトは 2008 年から 2019 年まで続けられ、その恩恵に預かった村は 9 村に及びました。嬉しいのは、工夫を施した畑のほぼ全てが、雨量が 600 mm を切った年でも 900kg/ha 以上の収穫を上げ続けていることです。

一年中食べられるようになった私たちは、この方法を隣接する 15 以上の村々に伝えました。資金も機材も足りてはいませんが、いつかまた「緑のサヘル」と一緒に活動できる日を楽しみに頑張りたいと思います。

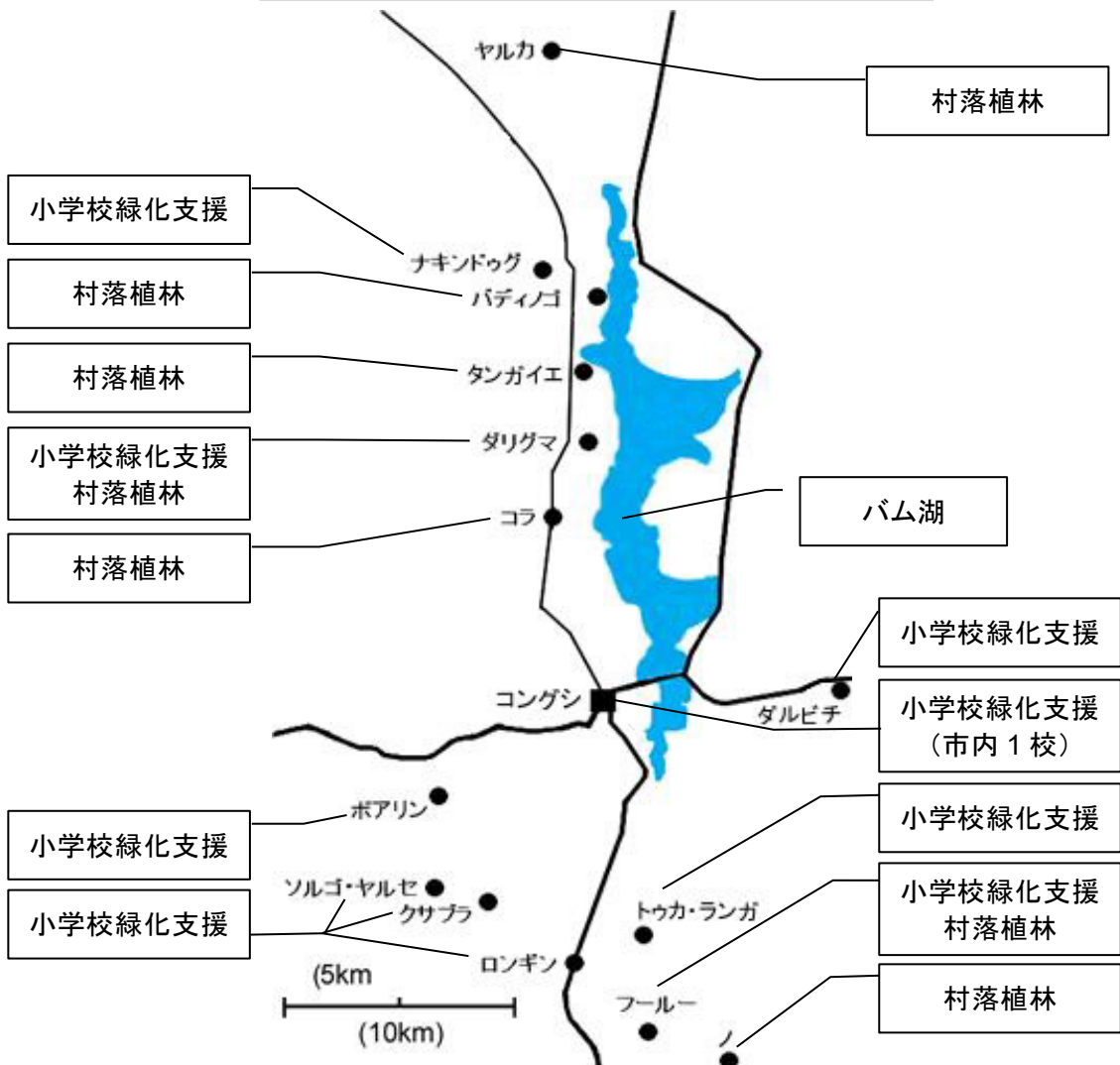
フルー村 サウドゴ・チルミンガ

ブルキナファソの活動地域図

<バム県位置図>



<バム県コングシ地域活動実施村位置図>



ブルキナファソから 1



既に雨季が始まっており、活動拠点であるコングシ地域の降雨状況はこれまでのところ良好です。地域の中心にあるバム湖は満杯状態ですが、洪水や氾濫は起きていません。村々では早朝から家族総出の畑作業が行なわれ、ソルガム（モロコシ）やミレット（トウジンビエ）が順調に育ちつつあります。

小学校緑化支援

6月16～17日、2020年度に10校が実施した植林の後管理に関する状況調査を行いました。

調査はバム県環境局ならびに教育局、現地NGOの協力を得て行なわれ、苗木の残存数や成長具合、灌水の状況、畜害・虫害の防止、用具の管理等について確認しました。苗木は植栽した450本中、333本が成長を続けており、残存率は74.0%となっています。



苗木の状態をチェックする調査スタッフ。

調査の終了後には、各校の関係者が参加する「成績発表会」と「表彰式」を開催しました。成績1位はクサブラ小学校で、苗木残存率は93.3%、総合評価も10点満点中9.8点とかつてない高い評価を受けました。尚、この様子は現地の全国紙「Sidwaya（モシ語で「真実の到来」）」のWeb版に掲載されました。

村落植林

2020年度に苗木を植栽した7村15植林区では、活動参加者やその家族、知人等による管理作業が続けられています。乾季のピークを越えた5月末時点で、計4,759本中3,755本が成長しており、残存率は78.9%となっています。各区における問題の聞き取りと、対策指導を継続しています。



湖近辺では苗木の水やりにも湖水を利用。

村名	植栽	残存	残存率
バディノゴ	880本	750本	85.2%
ヤルカ	880本	719本	81.7%
ダリグマ	880本	774本	88.0%
コラ	879本	616本	70.1%
フルー	300本	187本	62.3%
ノ	60本	20本	33.3%
タンガイエ	880本	689本	78.3%
7村	4,759本	3,755本	78.9%

ブルキナファソから 2

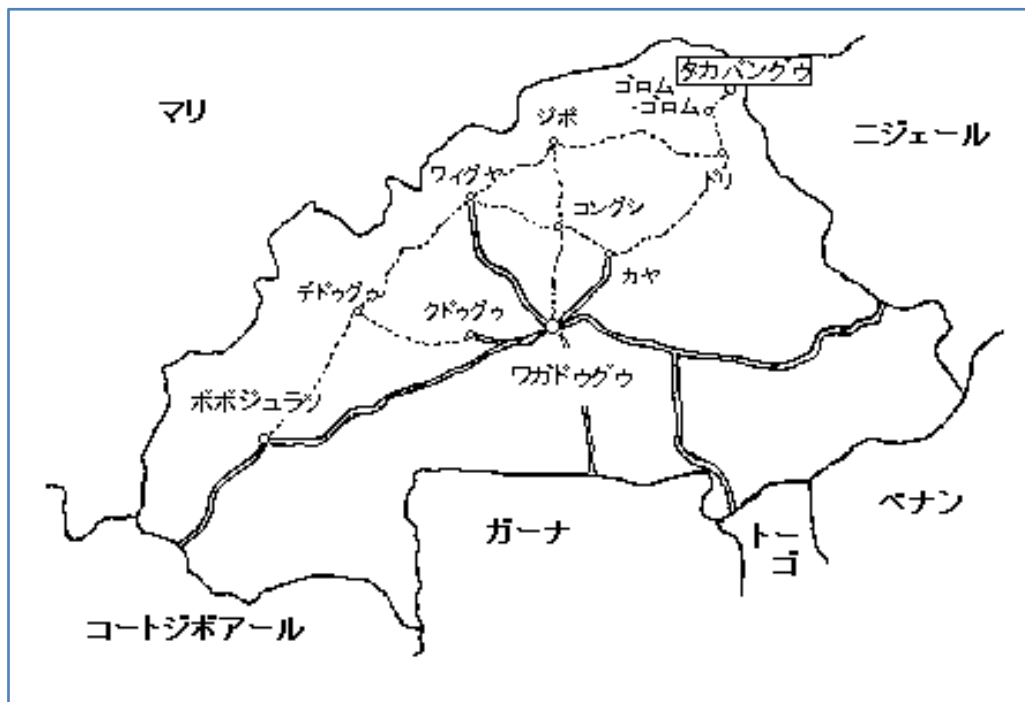


ブルキナファソの治安について

ブルキナファソでは 2015 年以來、武装集団によるテロ行為が頻発しています。当初、隣国マリとの国境付近で発生していた襲撃事件は、次第に東部に拡大し、これまでに 1,400 人以上が犠牲になり、避難民は 100 万人を越えていると言われています。

今年 6 月 4 日夜から 5 日にかけて北東部で起きた襲撃では、住民約 160 人が犠牲になりましたが、襲撃は現在も断続的に続いており、8 月 19 日には移動中の車列が襲撃を受け、47 人（民間 30 人、治安部隊 14 人およびその支援有志 3 人）が亡くなっています。

「緑のサヘル」の最初の拠点だったタカバングウ村はマリ、ニジェールとの国境からほど近く、昨年 2 月から 10 月にかけて数度にわたり襲撃を受け、大きな被害を受けています。その後、村内外への電灯設置等、警備の強化に努めて来ましたが、北東部の襲撃と同じ 6 月 4 日に 2 度の襲撃を受け、17 人の命が奪われました。



現在、上記地図のタカバングウ、ゴロム・ゴロム、ドリ、ジボ等、国境近辺の各市町村は、日本政府外務省によって最も危険度が高いとされるレベル 4（退避勧告）地域に指定されており、日本人の立ち入りが禁じられています。

「緑のサヘル」の現在の拠点であるコングシは、その北西のワイグヤ、南東のカヤと並んでレベル 3（渡航中止勧告）地域とレベル 2（不要不急の渡航中止勧告）地域の境目に位置していますが、いつ「退避勧告」に相当する事態が起きても不思議ではないのが実情です。引き続き情報の収集に努め、状況の推移に傾注して行くつもりです。

国内活動



長引くコロナ禍のため、ニュースレターやカレンダーの作製等、活動はほとんど事務局内に限定されました。そんな中、明治学院大学では「緑のサヘル」講演データの視聴による授業が行なわれました。

< 国内の主な活動一覧 >

4月	29日(木)	明治学院大学 法学部 講義 「世界の環境を考える」 (3・4年生 75名)
5月	27日(木)	「2020年報告」(A4版) 作製
6月	9日(水)	「ニュースレター No.86」 発送開始
	21日(月)	「2022年 オリジナルカレンダー」 作製開始
7月	31日(土)	「トヨタ環境活動助成プログラム」 中間報告書 提出

明治学院大学 講義 感想

ごく一部の抜粋になりますが、受講生の感想をご紹介します。

- 動画を視聴したことで問題意識を強く持ちましたが、この間にも多くの命が危険に晒されているにも関わらず、何もできていない自分の無力さに情けない気持ちになりました。このような厳しい状況下に暮らす人々の存在を知って、このまま何もせずに見過ごすことはできないという気持ちになりました。
- 今回のお話を通して、自分がいかに世界の問題に関心で無知であったかを実感しました。それと共に、今の自分の当たり前は、世界の誰かにとっては決して当たり前ではないのだと、強く思いました。
- 飲食関係のアルバイトをしているが、売れ残ったロス食品は全て廃棄処分している。いつももったいないと思いつつも処分するしか
- なかったが、さらに心苦しくなった。まずは自分たちの生活に感謝しながら、食糧ロスや電気・水の使い過ぎなど、もったいないことを減らしていきたい。
- 緑のサヘルが、そこに住む人たちの考えに寄り添って活動していることが、すごく伝わってきました。まずは人の心に寄り添うやり方だからこそ、いい影響が生まれやすく、長く続けていける活動になっているのではないかと感じました。
- 動画を視聴してショックを受けたのと同時に世界は変えられるということに気づきました。生活・環境が改善されたことで人々の笑顔も増え、世界を変えるということの本当の意味を理解できたと思います。

国際広報向け SNS で「緑のサヘル」が紹介されました！

6月17日は国連が制定する「砂漠化および干ばつと闘う国際デー」でした。この日、日本政府が国際広報向けに運用してる内閣府首相官邸公式 SNS（英語）「JAPAN GOV」が、「緑のサヘル」の活動を写真入りで紹介しました。（アクセスは以下から）

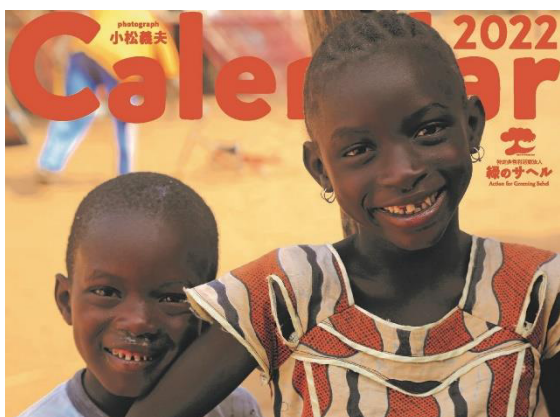
Facebook： <https://www.facebook.com/JapanGov>

Twitter： <https://twitter.com/japangov>



2022年カレンダー販売開始!!

ご好評いただいている「緑のサヘル オリジナル・カレンダー」を今年もお届けいたします!! 今回も世界各国で人々の暮らしを撮り続ける写真家・小松義夫氏と、旅行人・編集長の蔵前仁一氏にご協力いただき、素敵なカレンダーが完成しました。



各月の写真には、西アフリカの風景や暮らしが描かれ、人々の表情には喜怒哀楽が溢れています。どうぞ、ひと時の間アフリカへ!!

このカレンダー1冊で苗木10本を植えることができます。ぜひカレンダーのご購入で国際協力を! 同封のカレンダーチラシまたはメールにてお申込み下さい。

(緑のサヘル東京事務局)
agsj_tokyo@sahelgreen.org

サイズ: A4 変形 (広げた時 A3 変形) 印刷: オールカラー28ページ
価格: 1部 1,200円 (税込み)、送料 200円 (全国一律・何部でも)

皆様からのメッセージ

毎年、オリジナルカレンダーをご購入いただいた皆様から、多くのメッセージが届いています。以下にその一部をご紹介します。

- ・昨年初めて申し込みました。とても素敵な写真ばかりで、すぐにでも飛行機に乗り、ブルキナファソに飛んで行きたくなりました。(千葉県)
- ・アフリカの笑顔が世界を変える。温かく優しい世界へ。今年もカレンダーを楽しみにしています。(山梨県)
- ・素敵なカレンダーなので、楽しみにしています。職場で使っていると声をかけられることもあり、インパクトを感じています。(広島県)
- ・ブルキナファソという国名は、緑のサヘルの活動通信から知りました。アフリカの人々のことを思い、カレンダーを購入しています。(兵庫県)
- ・カレンダーを見ていると、アフリカの人々の生活など、遠い国でも身近に感じられます。(岩手県)
- ・友人にこのカレンダーをプレゼントしたら、「わぁーきれい!」と見入っていました。(愛知県)
- ・北海道の実家と東京を半年暮らしすることになりました。北海道でも力強い地球のカレンダーから元気をいただきます。(北海道)
- ・新型コロナ絡みの現場にいます。大好きな西アフリカにまた行きたい…、人々が少しでも幸せな日々を送れます様に…、暑い防護服の中から祈っています。(神奈川県)

ありがとうございました

*敬称は略させて頂きました。

【 会員のみなさま 】

大池良平／住友俊子／井上茂／石本雄大／須藤きい／松本仁一
川邊賢治／手嶋康／町千恵子／藤巻晴行／五味彩／山野上素充
佐藤京子／立花美江／菊地博子／北村広治／玉岡昇治

他 匿名をご希望の方 1名

【 ご寄付をいただきました 】

高橋菜々子／佐貫眞木子／那口真理子／武知ハルミ／木嶋清江
鈴木潤／澄田静／森田康子／手嶋康／富谷晋／西村豊子／太田宜子
大和由利子／宮原忠之／山本淑子／勝間朋子／竹越久高／太田弘子
櫻井徹／葛原睦子／玉岡昇治／村上和代／岩手プロジェクト
医療法人 協和会 田中佳博／個別教育フォレスト 安多秀司
かみひとねっとわーく京都 事務局 蛭名健二・加奈子

他 匿名をご希望の方 5名

【 ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました 】

大久保久美子

上記は 2021 年 5 月 1 日から 2021 年 7 月 31 日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、8 月 1 日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【 協力団体・助成団体 】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／トヨタ自動車(株)
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(株)ブギ／国際ソロプチミスト大阪-中央
(特活)環境アリーナ研究機構／(一社)環境メディアフォーラム
LIFULL ソーシャルファンディング／アフリカ料理トライブス
ソフトバンクつながる募金／(特活)国際協力 NGO センター

【 写真を提供しました 】

特定非営利活動法人 ネイチャーセンターリセン
カンボジア教員養成大学教官用指導書「環境教育」
カンボジア王国中学生環境学習副読本「私達が守るカンボジア」

「緑のサヘル」からお知らせ

ご支援をお願いします！

● 会員を募集しています！



「緑のサヘル」を恒常的に支えて下されませんか？年会費は、団体賛助会員 50,000 円、個人賛助会員 10,000 円、学生会員 5,000 円です。会員になって下さった方には会員番号を通知し、当団体のニュースレターと年次報告をお送りします。

● ご寄付を募っています。



「緑のサヘル」は、多くの方々の支えによって活動を続けられています。もちろん、いくらからでもOKです。どうぞ、貯まった小銭や臨時収入のお裾分け等々、「緑のサヘル」にお託し下さい！生徒会や有志による募金も、大事に大事に使わせていただきます。

● 読み終えた本を送って下さい。



読み終えた書籍を段ボールに詰め、元払いで「古本チャリティ募金」に送っていただくと、その買取金額が「緑のサヘル」へのご寄付になります。

送り先

古本チャリティ募金 運営事務局
株式会社ブギ 本棚お助け隊
〒112-0012
東京都文京区大塚 3-42-14
北村ビル1階

お送りいただける本

専門書、学術書、ビジネス、哲学、語学、資格、映画、音楽、アイドル、写真集等

以下は対象外です

- ・定価表示・ISBNバーコードがない本
- ・書き込み、破れ、シミ、臭いのある本
- ・文庫、雑誌、辞典・辞書、教科書、自費出版、非売品、全巻不揃いのコミック等

● 書き損じハガキや未使用切手を集めています。



国内での活動には、ハガキや切手も必要です。未使用の切手は、そのまま使わせていただきます。書き損じハガキは、1枚5円の手数料で同額のハガキか切手、レターパック等に換えることができます。その結果、現地の活動費を増やすことができます。

【 もくじ 】

- | | |
|---------------|---------|
| 1・表紙 | 5・国内活動 |
| 2・ブルキナファソ活動地図 | 6・事務局より |
| 3・ブルキナファソから1 | 7・ありがとう |
| 4・ブルキナファソから2 | 8・お知らせ |

< 編集後記 >

長引くコロナ禍、連日の猛暑と豪雨。先日、ブルキナファソの友人と連絡をとったら、「日本はコロナも暑さも豪雨も、こちらよりひどいようだけど、どうしちゃったの？」と心配されました。もう「安全な国」とは言えません。

La Forêt, C'est la Vie!

Vol.87

編集 緑のサヘル 東京事務局 / 印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 (特活) 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org
〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町16番地 N A S ビル3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041